

# 自己評価報告書

平成29年度

学校法人 佐藤栄学園

専門学校 埼玉自動車大学校

## 1. 教育理念

建学の精神「人間是宝」～人は生きた資本資産なり～を理想とし、人は誰でも努力と勉強次第で進歩向上するものであることを自覚させ、常に目標に向かって自己の可能性を試し、人としてより逞しく成長発展を目指し、観察力と創造的思考力の増進を図る。

## 2. 教育方針

学科・実習すべて全力を集中し、時間を有効に使い、無駄の無い生活をし、自己の最大の能力を開発する。

- (1) 人間はこの世の中に奉仕されるために生まれたのではなく、奉仕するために生まれたものであることを自覚し、自己の能力から創造の世界を発展させ、社会に役立つ仕事をするからこそ奉仕の生活にある。
- (2) この世の仕事は、アイデア次第でいくらでも進歩発展する。日々創意を新たにし、工夫して生活の充実発展を図る知能を養う。

## 3. 重点目標

- (1) 学生募集定員の確保
- (2) 就職率100%
- (3) 資格取得率の向上
- (4) 施設設備の充実

## 4. 評価項目の達成及び取組状況

### (1) 教育理念・目的・育成人材像

評価項目	評価			
	4. 適切	3. ほぼ適切	2. やや不適切	1. 不適切
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	④	3	2	1
学校における職業教育の特色は何か	④	3	2	1
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	③	2	1

### <課題>

本校の長い歴史の中で培った、一貫した教育理念に基づいて教育活動を行っている。

### <今後の改善方策>

特になし。

(2) 学校運営

評価 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切

評価項目	評価			
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④	3	2	1
人事・給与に関する規程等は整備されているか	④	3	2	1
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1

<課題>

・節水型トイレやLED照明など環境に配慮した施設拡充の事業計画を実施し、事業成果をより多くの関係者に幅広く情報公開を行う。

<今後の改善方策>

・学生減少に伴う収支バランスの変化を鑑み、優先順位を付与し施設拡充を実施する。

(3) 教育活動

評価 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切

評価項目	評価			
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科としての就業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	③	2	1
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	③	2	1
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置付けられているか	④	3	2	1
授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	③	2	1
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4	③	2	1
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	③	2	1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	③	2	1

<課題>

- ・優秀な人材育成と教職員のさらなる資質向上及び資格取得。
- ・ユタ留学の内容充実。

<今後の改善方策>

- ・企業、業界団体等との連携を保ち、車の構造だけでなく最新技術・整備作業等を学生に身に付けさせ、社会に出てからも学生と社会人とのギャップが大きくなるよう教育する。また、このことは教職員についても同様で、教育の能力アップのための研修等もさらに強化する。
- ・教育課程編成委員会で協議された教職員技術研修として、各ディーラー主催の技術講習会などの外部研修に積極的に参加させ、最先端技術を習得させる。
- ・学生の人気と経費を考え、海外研修コースをなくし、ユタ留学コースのみとしたことにより、アメリカの整備技術を通して、より国際感覚を養うことを目的とした研修内容のレベルアップを図る。特に留学先大学との連携を強化する。

(4) 学習成果

評価項目	評価			
	4. 適切	3. ほぼ適切	2. やや不適切	1. 不適切
就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	③	2	1

<課題>

- ・授業の進捗状況、学費納入状況等を保護者と教職員が情報共有する。
- ・卒業生、在校生の社会的な活躍及び評価の把握は、得られる情報などが限られている為、十分に把握が出来ていない。

<今後の改善方策>

- ・退学者軽減の為に、学生の生活状況や性格の把握など、きめ細やかな学生指導を行っていく。

(5) 学生支援

評価項目	評価			
	4. 適切	3. ほぼ適切	2. やや不適切	1. 不適切
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1
保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1
高校・高等専門学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④	3	2	1

<課題>

- ・クラブ活動の活性化。
- ・国家試験不合格者へのアフターフォローを充実していく必要がある。

<今後の改善方策>

- ・クラブ活動における成果の学生への告知、試合等への応援参加の支援体制等クラブ活動の活性化を図り、学生の意欲向上を目指す。
- ・不合格の卒業生は、企業に就職し職務に追われ国家試験対策がなかなか出来ない状況であると思われるので、学校側から国家試験資料や勉強環境の提供などを SNS などの媒体を利用し発信して、合格への道筋を示す。

(6) 教育環境

評価 4. 適切 3・ほぼ適切 2. やや不適切 1・不適切

評価項目	評価			
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1

<課題>

- ・ 3号棟教室の老朽化。
- ・ インターンシップでの企業側の評価などを行い、学校と企業が一緒になって、より実践的な教育に資する。

<今後の改善方策>

- ・ 収支状況も考慮して、学生の要望に応えられる計画を策定し、学生生活をより良い環境で実施できるようにする。
- ・ 限られた予算の中で、老朽箇所の修繕を行う。
- ・ 教育課程編成委員会でインターンシップの内容や評価基準などを議論し、産学連携での教育を実践する。

(7) 学生の受入れ募集

評価 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切

評価項目	評価			
高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか	④	3	2	1
学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1
学生募集活動において、資格取得・進学又は就職状況等の情報は正確に伝えられているか	④	3	2	1

<課題>

- ・学校教育内容や魅力をより発信できるようなホームページの内容強化が急務である。
- ・18歳人口の減少や若者の車離れが昨今叫ばれている状況下で、いかに車に興味を持ってもらえるかを考え、小学生や中学生、もっと若年の幼稚園生までの広く子供たちに車の魅力や整備という仕事に対する理解を増やせるように、新たな企画を策定する必要がある。
- ・女子学生の入学数が減少しているため、より女子に選ばれるような募集活動を展開する。

<今後の改善方策>

- ・学生募集の最大の戦略は在校生の実績である。就職内定・資格取得はもちろん、社会人になるに当たっての人間教育が大切である。これは本校の特色でもあり、保護者・高校・企業等からも評価していただいております。今後も強化していく。
- ・既存の媒体に加え、新たな媒体の開発を行い本校の特色を幅広くアピールする。
- ・昨年度の反省点を集約し、教職員全員に情報をフィードバックし、募集対応を強化していく。
- ・現在のホームページは活字中心の構成になっているが、若者によりわかりやすくアピール出来るように「視覚」に訴えられる動画を中心とした構成にシフトする。
- ・オープンキャンパスでの「女子会」の内容を再考する。
- ・我が校は、整備士試験の合格率及び合格数は他の専門学校に追随を許すことのない実績を残しているため、この合格率及び合格者数を全面的にアピールすることにより選ばれる学校として募集活動を行いたい。



(8) 財務

評価 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切

評価項目	評価			
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2	1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

<課題>

- ・財政基盤の安定は、学生確保が基本となる。

<今後の改善方策>

- ・少子化、整備士希望者の減少等厳しい状況が予想される。整備士の魅力を幅広く周知して、今後とも学生募集の強化を図りたい。
- ・学生教育の質向上を図るべく経費を投下しながらも、他の経費を削減しつつ収支バランスのとれた経営を目指す。

(9) 法令等の遵守

評価 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切

評価項目	評価			
法令、専修学校設置基準等の遵守と適切な運営がなされているか	④	3	2	1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1
自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

<課題>

個人情報管理の徹底。

<今後の改善方策>

- ・学校関係者委員会、教育課程編成委員会、関係企業等外部の意見・要望を取り入れて、適正な学校運営に取り組む。
- ・職員研修等により情報管理の徹底を図るとともに、ハッキング等の事態への対応に取り組む。
- ・法人が企画するコンプライアンス教育研修会に教職員を派遣し、コンプライアンスに対する理解を深める。

以上